

一家に1枚ヒトゲノムマップ 第1版4刷から第2版第1刷への変更点

平成20年10月25日

**【遺伝子の追加】**

OCT3/4, SOX2, KLF4, c-MYC : 多能性誘導因子の追加

理由 以下の3点

1. iPS細胞は一般の関心が非常に高く、世界中で注目されている。
2. iPS細胞に関する解説は多くのメディアに出ているが、山中因子の各遺伝子の位置を示しているものは1つもない。その意味において、既存の解説と一線を画することができる。
3. 山中因子の発見はゲノム計画の成果により全遺伝子のリストがすでに存在していたことが大きく寄与していた。このことは幹細胞研究がゲノム研究に支えられていることがよく分かる好例である。

**【制作協力への追加】**

山中伸弥(京都大学 物質 - 細胞統合システム拠点 iPS細胞研究センター/再生医科学研究所)、  
石井哲也(京都大学 iPS細胞研究センター研究統括室)

理由 多能性誘導因子の説明文制作に協力していただいたため

**【資料協力への追加】**

山中伸弥(京都大学 物質 - 細胞統合システム拠点 iPS細胞研究センター/再生医科学研究所)

理由 ヒト iPS細胞の写真をご提供いただいたため

**【染色体遺伝子数の変更点】**

1番	2782	3186
2番	1888	2093
3番	1469	1638
4番	1154	1300
5番	1268	1448
6番	1505	1843
7番	1452	1722
8番	984	1162
9番	1148	1394
10番	1106	1259
11番	1848	2000
12番	1370	1509

13番	551	611
14番	1275	1420
15番	945	1143
16番	1109	1270
17番	1469	1650
18番	432	480
19番	1695	1861
20番	737	824
21番	352	386
22番	742	812
X番	1336	1529
Y番	307	344

理由 データベースが更新されたため

【さまざまな生物の遺伝子数の変更点】

ヒト	28924	32884
チンパンジー	25174	25195
マウス	29725	29554
ニワトリ	18085	18131
トラフグ	22367	22041
ショウジョウバエ	14105	14168
線虫	20101	20210
コウジ菌	12332	12099
分裂酵母	5071	5031
シロイヌナズナ	27081	27284
イネ	28661	28662
マラリア原虫	5266	5261
大腸菌	4435	4467

理由 データベースが更新されたため

【ゲノムとは・・・の文章の変更点】

最終行: 約 2万 8900 個      約 3万 2900 個

理由 データベースが更新されたため

【さまざまな生物脚注の変更点】

2007年9月現在      2008年9月現在

理由 データベースが更新されたため

【欄外にある【ヒトゲノム】遺伝子数の変更点】

Homo sapiens Genome: Statistics, Build36.2

Homo sapiens Genome: Statistics, Build36.3

理由 データベースが更新されたため

【このマップの見かたの変更点】

約 2 万 6800 個      約 3 万 2900 個

2006 年 4 月      2008 年 9 月

理由 データベースが更新されたため

【オーソログアイコンの変更点】

DRD5 線虫をトル

LIPF イネをトル

ALDH2 イネを追加

HTR2A 線虫をトル

MAPK1 イネを追加

理由 データベースが更新されたため

【このマップの見かたの修正】

複数の遺伝子が同時に解説されている EYCL1&3, OPN1LW・OPN1MW には、アイコンはつけられていません。

複数の遺伝子が同時に解説されている EYCL1&3, OPN1LW・OPN1MW, 多能性誘導因子には、アイコンはつけられていません。

理由 多能性誘導因子を追加したため

【発行版・年月日の修正】

第 1 版発行～第 1 版第 4 刷までを以下に差し替え

第 1 版第 1 刷発行: 2006 年 3 月 25 日 第 2 版第 1 刷発行: 2008 年 10 月 25 日

理由 多能性誘導因子の追加に伴い、第 2 版へと移行したため